



## 「幸多かれと祈ります」卒業式式辞より

春の穏やかな日差しを浴びて、校庭の桜の花もふくらみ、開花間近の今日のよき日に、規模を縮小しての実施となりましたが、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和元年度卒業式を挙行できますことは、私どもにとって、この上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。

さて、小学校六年間の全課程を修了し、本日、この平磯小学校を巣立ちゆく三十八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、六年間の小学校生活を立派に成し遂げ、たくさんの素晴らしい思い出を胸に、今、令和最初の卒業生として、中学校という新たなステージへ飛び立とうとしています。

六年前、ほとんどの皆さんは、保護者の方と一緒に、今では小さく思えるランドセルを背負って、この平磯小学校に入学してきました。激しい雨のふる日も、強い風の吹く日も、暑さや寒さに負けることなく、学校に通い、勉強や運動に励み、心も体も大きく成長しました。

特に、この一年間は、学校行事や委員会、クラブ活動などで、全ての児童の先頭に立って、最上級生としての役割と責任を立派に果たしました。

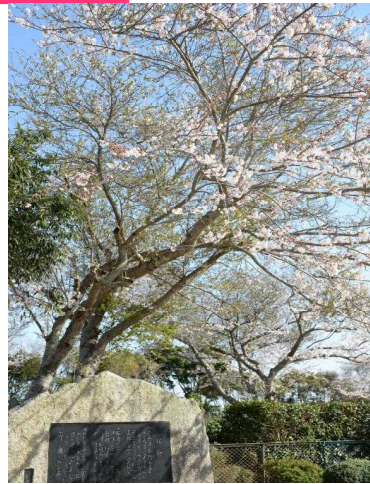
運動会での旗体操。一人一人が自らの役割を担い、五年生とともに一糸乱れぬ団結力を見せてくれました。また、市内陸上記録会では、一生懸命練習に励み、自己記録の更新を目標に全力で挑戦しました。磯遊びでは、一年生の面倒をみてくれながら、安全に気を配り、一緒に海の生き物を探しました。さらに、磯崎小学校、阿字ヶ浦小学校との三校合同持久走大会でも、数多くの友達の中で、互いに競い合い、すばらしい成果をあげることができました。様々な行事にひたむきに取り組む姿が、平磯小学校の誇りであり、下級生の目標となりました。

そんな素晴らしい皆さんも、四月からは中学生になります。そこで、卒業にあたり、新しい門出をお祝いし、心がけてほしいことをお話します。それは、「和協を胸に、自分で考え、粘り強く行動し、あきらめない」ということです。

皆さんのほとんどは、平磯中学校に進学後、二年生になる時から、美乃浜学園に通います。中学校は義務教育のまとめになります。自他を大切にしながら、自分に合った進路選択ができるように、自分自身としっかり向き合い、自分をよく理解してから、自分にとっての目標を定め、目標達成のための計画をていねいに作り、つらくてもあきらめずに、きちんと実行して学習面や運動面でより充実した生活になることを心がけてください。皆さんのさらなる成長を期待しています。

結びになりますが、保護者の皆様方に一言お祝い申し上げます。お子様が、立派に成長され、この栄えある卒業の時を迎えられましたこと、本当におめでとうございます。小学校卒業という節目を迎えられ、これまでのご労苦も、大きな喜びに変わっていることと存じます。この六年間、本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜りましたこと、全職員とともに感謝いたしております。これからも、お子様が健やかにたくましく成長されますよう心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

立平磯小学校長 中村 純治



保護者の皆様には今回の新型コロナウイルスの流行に伴う臨時休業で、大変ご迷惑をおかけいたしました。卒業生につきましては、ほぼ教育課程を修了しておりますが、なお、足りない部分については、プリント等を配布するなどして対応する予定です。また、文部科学省等でもホームページ上に補充のコンテンツを掲載予定と聞いております。活用いただければと思います。1～5年生で未履修となっている部分については、学校が再開されましたら、指導を行う予定です。つきましては、今年度の教科書・ノート等は処分されずに残しておいていただければと思います。よろしくお願いいたします。